

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

企業間交流制度で視野を広く

～人材定着・育成の工夫～

①

また若手社員が東京にある会社に転職するといって退職してしまっただ。

なぜ、東京に行くのでしょうか。


なんとなくかなんか



②

従業員にその理由を聞いてみたら、IT業界は都心部にいた方が業界内の人との交流が多くできるし、「自分のスキルは社外でも通用するのか」ということを考えたようだ。

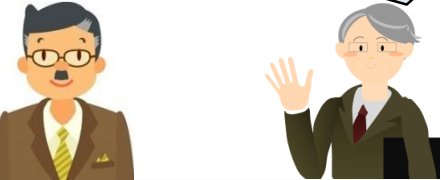
バイトリテイが高いのは良いことだけと



③

従業員が自身のキャリアアップに不安を感じているのであれば、たとえば、**企業間交換留学制度を導入**してみてもいいでしょうか。制度を利用すれば、本人のスキルアップにつながりますし、企業にとっても良い影響を与えるはずですよ。


おもしろそうだ



④

都心部にある企業との交換留学制度を導入したところ、従業員のスキルアップにつながりました。また、新しい視点を持ち帰ってもらうことで、周囲のメンバーに好影響を与えるなど、社員・企業共に成長することができました。

業務も効率化され、長時間労働も解消した



取組事例紹介

業種：情報通信業 従業員数：133名

地方のIT企業は、都心部より同業界の企業との接点が少なく、キャリアアップの機会が減ると恐れ、人材が定着しないことから、「企業間交換留学制度」の導入に取り組んだ。

- <クロスターンシップ（企業間交換留学制度）の導入>
- 社員の成長機会を積極的に提供できる職場環境の整備を目指し、都心部にある企業との交換留学制度を締結。
 - 留学期間中は日報や週報を通じて活動内容を報告。
 - 留学終了後には、自社と留学先企業に向けての課題と改善提案のプレゼンを行い、その後1年間の活動計画を発表。

企業間交換留学制度（転籍等を含めた留学先での取扱い）については就業規則に明記

就業規則



- ・留学制度を利用した従業員にとっては、あたかも転職したかのような環境に身を置くことで、自身のスキルや考え方の確認ができ、キャリアアップにつながった。
- ・企業にとっても、留学制度を利用した従業員が留学先で得た気づきや新しい視点を持ち帰り、周囲のメンバーに好影響を与えるなどのメリットがあった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【平成31年度厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市中種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-552-754

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com